



農業鑑定競技会

No 勘! 校内大会=全国大会代表予選会



農業版実物クイズ

農業鑑定競技会(通称:ノーカン)は、日頃の農業学習で得た成果を、鑑定・判定・診断・審査技術にわたり、その実力を競い合う。出題数は40問で、農業生物、種子、肥料、機械機具...等々を20秒または40秒というわずかな時間で鑑定・判定し、その正答率を競う。

警鐘! これで良いのか。平均10.7点

点数を獲得も獲れないにも原因がある。勘だけでは獲れないし、偶然もありえない。それが農鑑!

Q1: 職員室前の実物展示を何回見に来たか?

0回		18.4%
1回		35.3%
2回		18.9%
3回		17.9%
4回		5.3%
5回		4.2%

Q2: 40秒問題(電卓有の計算問題)は何問解いたか?

2問とも解答		16.8%
1問のみ解答		28.2%
無回答		55.0%

Q3: もちろん、40秒問題は電卓を使ったよね? えっ...

使った		26.8%
使っていない		73.2%

目的と目標の違い。ノートづくりがゴールではない。その先へ!

今回も多くのクラブ員が休み時間や放課後、休日に勉強している姿が見られた。ノートに何も記入しない人に比べれば、しっかりと記入している人の点数が高い傾向にあるのは確かであるが、ノートを記入した割には点数に反映されていないクラブ員もいるようだ。なぜか。今一度、目的と目標を整理する必要がある。目的と目標は以て異なるものです。目的というのは最終到達地であり、ゴール。点数を獲得というのが目的。対して、目標は目的にたどり着くための、目印や手段を指す。ノート記入はあくまで目標に過ぎません。出題範囲や項目単体の知識を把握するためには欠かせないものではあるが、点数を獲得に繋げるためにはもうひと手間必要である。およそ半分が選択式で出題されたように、知識だけでなく、比較・判断・診断する力が求められる。知識の一覧を分類したり、整理する作業が必要である。選択式だから言って、勘頼みでは通用しない。丸暗記だけでは乗り越えられないのが農業鑑定の難しさであり、面白さでもある。次回は、ノートづくり+αの頑張りを期待する。